

令和2年10月15日

各 位

北海道病院協会

理事長 中村 博彦

全日本病院協会北海道支部

支部長 徳田 禎久

(印 章 省 略)

『発熱外来設置に向けた研修会』開催のお知らせ

北海道病院協会及び全日本病院協会北海道支部の運営につきましては、日ごろから特段のご高配を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症につきましては、依然として終息が見通せない状況が続いておりますが、これから迎える秋冬の時期は、季節性インフルエンザの流行期でもあり、新型コロナウイルス感染症に加え、発熱患者が大幅に増加することが見込まれます。

こうした中、国や道では、発熱者がかかりつけ医等に相談・受診し、検査が受けられる体制を整備するため、新たに発熱患者等の診療又は検査を行う「発熱者等診療・検査機関」などの指定を行うため、現在、皆様のところには、北海道若しくは保健所政令市の札幌市、函館市、小樽市、旭川市から指定に係る意向調査が送られているものと思います。

しかしながら、指定を受けるに当たっては、発熱患者とそれ以外の患者が接触しないよう動線を分離することや医療従事者の十分な感染対策を講じることなどが要件となっており、指定を受けることは困難と感じている会員や指定は受けないまでも発熱患者の受入に不安を感じている医療機関の方も多いのではないかと思います。

この度、北海道医療大学の塚本教授をお招きし、発熱外来設置場所とそのレイアウト、発熱外来の流れ、検査方法、検査後の患者への情報提供など、発熱外来の設置や発熱患者の受入に必要な事項についての研修会を開催することといたしました。

つきましては、別紙のとおり開催いたしますので、感染対策に関わる職員等の受講についてご配慮いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、本研修会は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、パソコンやスマートフォン等によるネット受講（ZOOMを使用したリモート研修）とさせていただきます。